



ひかりのこつうしん No.7

「なぜそのルールがあるの？」

ひかりの子幼稚園

2023 年 11 月 30 日

もみじやイチョウの紅葉が美しい季節になり、中庭のツリーのライトアップも始まっています。。

先月号の「ひかりのこつうしん」では「バスにおける置き去り防止支援活動」についてお伝えしましたが、それ以外にも日々の通園バスの車内では小さな問題が起きることがあります。朝、バスに乗り込み仲良しのお友達を見つけると、嬉しくなっておしゃべりが止まらず、バスの中が騒がしくなることも……。そこでとあるバスの年長組の子どもたちが集まり、「バスのルール」について考える会議を開く事にしました。

子：「静かにしないとダメなことは知ってるけど、興味のあることだとどうしてもつられるんだ」

子：「先にしゃべりだす子が悪い」

子：「じゃあしゃべる子の席をみんなから聞こえないくらい遠くにすればいいんじゃない？」

子：「そうだ、席替えがいい」

大人：「ちょっと待って！そもそもなぜ静かにしないといけないかわかる？」

「バスの中がうるさいとどうなる？」

子：「踏切でカンカンの音が聞こえなくなる」「運転手さんが困る」

子：「バスが踏切にはいつてしまう」

子：「電車と衝突してバスがぐしゃぐしゃになる」

子：「中の人もぐしゃぐしゃになる」

大人：「中にいるのは誰？」

子：「僕たち……」「死んじゃうかもしれない」

大人：「死んだらどう？」

子：「死んだらママが泣く……」「それは大変だ」

子：「そっか！だから静かにしないといけないんだ」「うん、そうなんだ」

大人：「運転手さんは、みんなを守るためパパやママを悲しませないために安全運転をしています」

「運転手さんが安全に運転できるよう協力してくれるかな？」

子：「うん協力する！」



話し合いの様子



「協力するぞ！エイエイオー！」

こんなやり取りが行われました。一つ一つ丁寧に子どもと向き合うと、ひとり一人がしっかりと考える力を持っていることに驚かされました。それ以来、そのバスでは子ども達の意識が変わり、行動が変わり、バスの中は平穏を保ち続けています。

「ルールだから守る」「大人が決めたことだから守る」ではなく、そもそも「なぜそのルールがあるの？」「そのルールを守らないとどうなるの？」その根本のところを問いかけ、自分で考え、理解し、協力して行動する経験が大切なのだと、このバス会議を通じて改めて思ったことでした。

この先、子どもたちは成長し、社会に出る中でいろいろな問題に出会うと思います。この幼稚園で経験したあらゆるものが「生きる力」の糧となり、ひとり一人を大切に思う社会を作る担い手となってくれることを信じています。

各クラスではアドベント2週目を迎え、イエス様のお誕生をお祝いするクリスマス会に向けて準備が始まっています。寒さが厳しくなってまいりました。皆様の健康と幸せをお祈りしています。 園長 松本 直子